

これまでの研修報告

緊急時対応研修（1月20日開催）

緊急時対応のマニュアルを確認する中で、実際に利用者さんの意識がなくなったら、呼吸がとまったらどうしたらいいのか、そのためにはどんな知識・技術が必要なのかを各自が考える機会となりました。研修を受講した方も、していない方も、利用者さん宅に郵送済のマニュアルを参考にしつつ、お時間のある際に利用者さんと実際の対応方法等をご確認頂ければと思います。

[参考：救急車を呼ぶべきか迷った時は、、、救急対応病院を自分で探すには、、、]

東京消防庁 救急相談センター：
<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/life/kyuu-adv/soudan-center.htm>

東京都医療機関案内サービスひまわり：
<http://www.himawari.metro.tokyo.jp/qq/qq13tomnlt.asp>

町田市医師会 休日診療・救急当番：
<http://www.machida.tokyo.med.or.jp/kyujitsu/index.html>

「ニーズ中心の福祉社会へ?次世代型福祉戦略?」シンポジウム（追加）

PAM 研修通信 VOL. 4 でのご案内が間に合わなかったので、一斉メール送信でご案内させて頂きました。「当事者主権」（岩波新書）と「ニーズ中心の福祉社会へ 当事者主権の次世代福祉戦略」（医学書院）の著者である共著者である中西正司さんと上野千鶴子さんもシンポジストでした。

上記の書籍は、私も読み感銘しました。今では愛読本です！

車椅子メンテナンス研修（2月10日開催）

学生時代に障害当事者の方の介助経験を積んだことがきっかけで車椅子の製造、販売、修理等を担う会社を設立した有限会社パムックの川畑社長さんだからこそ、語れるヘルパーが知っておくべき、車椅子の構造やメンテナンス知識・技術の基本を伝授頂きました。貴重な講義をありがとうございました。

今回は基礎編なので、実際のメンテナンス対応にヘルパーが関わる可能性があるようであれば、利用さんと事前に確認しておいた方がいいかもしれません。

今後、技術編の開催も検討したいと思います。

今後の研修のご案内（アンケートの要望に沿った研修を開催します！）

当事者から学ぶシリーズ1「視覚障害者への介助・ガイドポイント」

日時：2010年3月27日（土）14時～15時半（予定）

場所：町田市民文学館ことばらんど 第6会議室

（住所：町田市原町田4丁目16番17号、電話 042-739-3420）

講師：三村栄子（視覚障害当事者）

（講師の都合等で延期する場合があります。その際は、同テーマは延期とし、当日は介護職のメンタルヘルスのポイントをご紹介する研修とします。その際の出欠席は、事前確認致します。）

内容：視覚障害者として、どのように生活しているか、日常っていることや工夫していること、ヘルパーや周囲の方に配慮して欲しいことをお話頂きます。

募集人数：先着15名（但し本年度未受講者優先）

ガイドヘルパー資格について興味関心のある方は、ガイドヘルパー.com をご覧下さい。

<http://www.guide-helper.com/>

介護福祉士受験予定者必見！

「介護福祉士受験体験談＋介護職のメンタルヘルスのポイント」

日時、場所、講師（予定）

1回目 4月7日（水）18時半～20時予定、まちだ中央公民館学習室5、当社介護福祉士3名予定

2回目 4月11日（日）13時半～15時予定、まちだ中央公民館学習室1、当社介護福祉士3名予定

内容：2回ともほぼ同じ内容で開催します。前半は、介護福祉士を目指す皆さんに対して、ここ3年間で介護福祉士国家試験に臨み、合格した従業員の体験談（受験勉強の開始時期、参考テキスト、その他のコツ！）をお話します。後半は、利用者さんに気持ちよく介助ができるよう、介護職のメンタルヘルスの方法をお話します。週末に趣味活動で気分転換といったありきたり話ではなく、「エニアグラム」「発想転換」等のその場で活用できるノウハウをご紹介します。介護福祉士の受験予定でない方も後半の話に興味関心があれば、是非、ご参加下さい。

募集人数：1回目10名、2回目15名（但し本年度未受講者、介護福祉士受験希望者優先）
*3月、4月とも、「町田市介護福祉研究会」の名前で会場を借りています。当日お間違いないように！

「介護職を守る法律」（予定）

日時：5月又は6月予定（次号で日時、場所のご案内を致します）

講師：星博（行政書士）（依頼中）

内容：労働基準法、労働安全衛生法の基礎に加えて、介護労働者法、職場における腰痛予防対策指針のポイントを学びます。（依頼中）

学生さんへ：レポート研修テーマの発表です！

当社では、学生さんヘルパーも数多くいるのですが、この来月で卒業される方々があります。

ご卒業おめでとうございます！PAMでの介助経験を生かして卒業後もご活躍下さい。

さて、卒業前に2009年度の研修を受講できない方、また講義等で忙しくて研修参加の予定が立ちにくい在学生の皆さんには、下記のテーマでレポートを書いて頂くか読書感想文をお書き頂きます。その提出をもって研修参加とみなすこととしました。

（テーマ）

「これからの社会福祉や介護のあり方について」

「障害当事者へのかかわり方について」

「障害当事者から学ぶこと」

（読書感想文）

「事故ル！18歳からの車いすライフ」 幻冬舎ルネッサンス発行、安藤信哉著

「みんなの思いが明日をひらく 障害学生からのメッセージ」全国障害学生支援センター発行、西村伸子編

（2冊目は、書店では販売していませんので、ご希望の方は発行者にご連絡下さい。）

（電話 042-746-7719 HP上でも注文できます <http://www.nscsd.jp/>）

「当事者主権」 岩波新書発行、中西正司著、上野千鶴子著

*表紙に「パーソナルアシスタント2009年度研修レポート」と記載頂いた上で、テーマ（又は読書感想文書名）、氏名も合わせて記載下さい。

(文字数) 400字～800字程度(それ以上でも構いません)

(書式) 手書き、パソコン打ちどちらでも構いません。

(提出期日) 卒業生は3月末まで。在 student でレポート研修希望者は8月末までにご提出下さい。

(備考) レポート提出の場合は、研修費の支払いはありません。

卒業前にひとつだけアドバイスです。

以前、返信頂いた葉書ですが、裏面を「木村有孝 行」のまま、投函された学生さんヘルパーが数多くいました。このような返信葉書は、下記のように修正の上、投函頂くといいかと思えます。

(○) 木村有孝 行 → 「行」の時の上を二重線で訂正し、右横に「様」を書く。

(×) 木村有孝 行 → 木村有孝 御中(御中は法人や団体に出す場合です)

書籍「7つの習慣 成功には原則があった！」(キング・ベアー出版)の紹介

あと社会福祉や介護を専門学校や大学等で学んだ学生さんが社会人になると同時に専門職デビューすると様々な壁に遭遇するものです。十数年前の私も「理想と現実」「時間管理」等について悩んだものです。そんな時、役立ったのが、上司から勧められた書籍「7つの習慣 成功には原則があった！」(キング・ベアー出版、スティーブン・R・コヴィー著)です。一時期は、毎年1回のペースで繰り返し読んでいました。読めば読むほど味がある書籍です。

卒業する学生さんだけでなく、既に社会人の方にもオススメです！

PAM研修講師募集中！

(日)当事者から学ぶシリーズ

条件：障害当事者の方でヘルパーに伝えたいことがある方

(月)介護技術・形態別介護技術研修講師

条件：当社ヘルパーに対して腰痛予防対策、脳性まひや脊髄損傷の方等の利用者さんに安全な介護(介助)をするための知識・技術を指導できる方

*講師謝礼は、社内規定に基づき、お支払いします(参考：1回90分1～3万円+α)。

PAM 研修通信と研修に関するお問い合わせ先

パーソナルアシスタント町田

194-0013 町田市原町田 2-7-19 エスポワール町田 106

TEL/FAX : 042-721-0838 HP : <http://www.pa-machida.co.jp/>

Mail : pam@w7.dion.ne.jp (事務所)

@pa-machida.co.jp (研修担当 : 木村有孝) @のまえに名字を小文字で入力して下さい。

* 皆さんに同じく日中はヘルパーをしているので、事務所にはほとんどおりません。

お手数ですが、お問い合わせは、なるべくメールでお願いします。